

<第 120 回> 11月30日 (金)

クイズ形式で「進路」について考えてみよう (その7)

～キャリア教育・若者の雇用状況など～

校長 神戸秀巳

今回は若者の労働環境やキャリア教育に関連する内容を中心に考えてみましょう。将来に関わる重要な話ですので、家庭での話題にさせていただけたらと思います。

【問い1】「進路選択についてどんなことが気になりますか？」

リクルート『キャリアガイダンス』2011年資料
高校生の回答 (複数回答) が多い順に並べると、次のとおりになります。

[1] ~ [3] に入ると思うものを下のA~Cより選んでください。

1位	[1]	55.4%
2位	自分に合っているものがわからない	35.6%
3位	[2]	31.2%
4位	[3]	23.8%
5位	自分で決断する自信がない	18.5%
6位	知りたい情報を集めたり、選んでいく方法がわからない	17.5%
7位	経済的な理由で自分の希望がかなわないかもしれない	12.3%
8位	特になし	8.5%

- (選択肢) A やりたいことがみつからない、わからない
B 社会に出て行く能力があるか自信がない
C 学力が足りないかもしれない

※11月23日に本校主催で実施した市民公開講座「キャリア教育を展望する」で、講師の角田浩子様 (上記情報誌編集長) が使用した資料から出題しました。

【問い2A】「キャリア教育」について書かれた文章の [4] ~ [7] に入る言葉を下のA ~ Fから選んでください。

文部科学省ホームページより
中央教育審議会答申 (注:平成23年1月) にあるとおり、キャリア教育は、「一人一人の社会的・職業的 [4] に向け、必要な基盤となる [5] や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」とされ、「普通教育、専門教育を問わず様々な教育活動の中で実施される。」また「[6] 教育もその中に含まれる。」

経済産業省ホームページより
(前略)「[6] 体験活動」や「インターンシップ」といった [6] に直接触れる体験だけでなく、国語・算数・理科などの授業の内容と実社会との [7] を理解させる活動なども含まれます。

- (選択肢) A 人格 B 職業 C ギャップ
 D 自立 E 能力 F つながり

【問い2B】「社会人基礎力」について、[8]～[10]に入る言葉を考えてください。

「社会人基礎力」とは、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。
経済産業省ホームページより

＜3つの能力／12の能力要素＞

- 前に踏み出す力（アクション）
～一歩前に踏み出し、[8] しても粘り強く取り組む力～ ヒント：ひらがな4文字
・主体性 ・働きかけ力 ・実行力
- 考え抜く力（シンキング）
～ [9] を持ち、考え抜く力～ ヒント：ひらがな3文字
・課題発見力 ・計画力 ・創造力
- チームで働く力（チームワーク）
～多様な人々とともに、目標に向けて [10] する力～ ヒント：ひらがな6文字
・発信力 ・傾聴力 ・柔軟性 ・状況把握力
・規律性 ・ストレスコントロール力

【問い3】新規学卒者の離職状況について、あ～くに当てはまると思う数字を推測してください。数字は全て二桁です。

厚生労働省ホームページ「若者雇用関連データ」（平成24年10月）より

- ◆卒業1年以内と3年後の離職率
- ・高校卒
卒業1年以内 あ. 2%
卒業3年後 い. 7% ※卒業後3年以内の合計
 - ・大学卒
卒業1年以内 う. 5%
卒業3年後 え. 8% ※卒業後3年以内の合計
- ◆産業分類別卒業3年後の離職率の高いもの
- ・高校卒
- | | | |
|----|---------------|---------------|
| 1位 | 宿泊業、飲食サービス業 | <u>お</u> . 7% |
| 2位 | 生活関連サービス業、娯楽業 | <u>か</u> . 1% |
| 3位 | 教育、学習支援業 | 54. 2% |
| 4位 | 不動産業、物品賃貸業 | 51. 5% |
| 5位 | 小売業 | 49. 1% |

・大学卒

- 1位 教育、学習支援業 き 8%
- 2位 宿泊業、飲食サービス業 く 5%
- 3位 生活関連サービス業、娯楽業 45.0%
- 4位 医療、福祉 38.6%
- 5位 不動産業、物品賃貸業 38.5%

参考

クイズ形式で「進路」について考えてみよう（その1） より

「離職の理由」の上位2つ

- 仕事が合わない
- 職場の人間関係

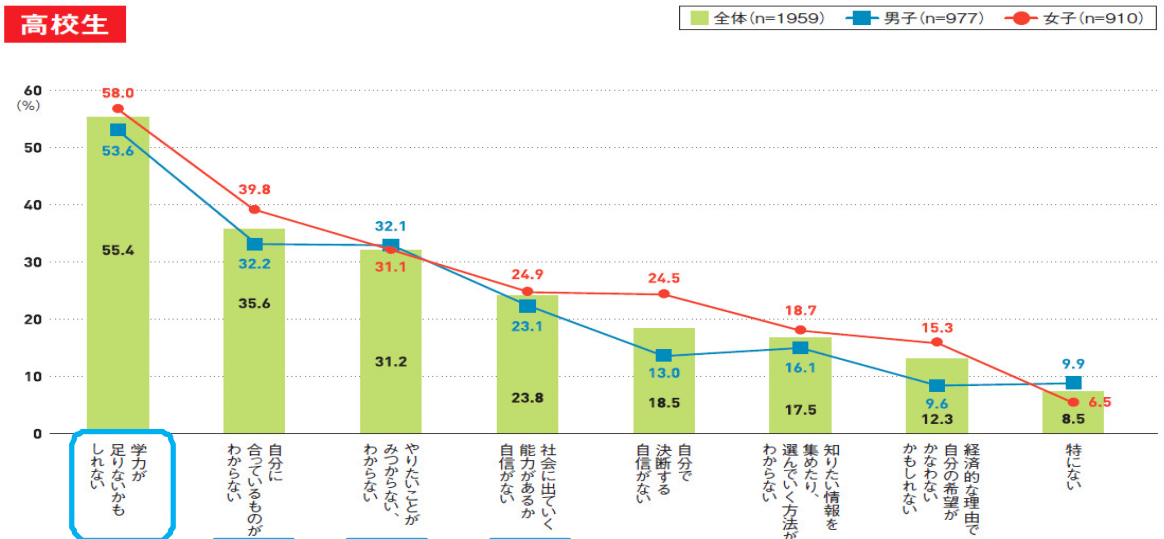
< 解答 >

【問い1】

- [1] C [2] A [3] B

日本の高校生の進路の気がかり 一位は「学力」 次いで「わからない」「みつからない」「自信がない」

◇進路選択についてどんなことが気がかりか（全体/複数回答）



2011年	全体	1959	55.4	35.6	32.1	23.8	18.5	17.5	12.3	8.5
進路対話 頻度別	話す・計	1468	58.6	35.0	28.5	24.6	18.6	16.7	11.9	8.1
	よく話を する	323	62.5	26.0	21.1	26.6	15.8	13.3	13.3	9.6
	たまに話を する	1145	57.5	37.6	30.7	24.0	19.4	17.6	11.5	7.7
	話さない 計	483	46.4	37.5	39.8	21.5	18.6	20.3	13.5	9.1
	あまり話 さない	399	49.1	38.1	42.4	22.3	20.1	20.3	14.0	6.8
まったく 話さない	84	33.3	34.5	27.4	17.9	11.9	20.2	10.7	20.2	

100.0 「2011年全体」より10ポイント以上高い
100.0 「2011年全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2011年全体」より10ポイント以上高い

【問い2 A】

[4] D [5] E [6] B [7] F

- 前半の文章は文部科学省ホームページ内にある「キャリア教育における外部人材活用等に関する調査研究協力者会議（第1回）議事要旨」の「質疑応答」の一部を使わせていただきました。

該当URL

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/083/gijigaiyou/1303498.htm

- 後半の文章は経済産業省ホームページ内にある「第3回『キャリア教育アワード』及び第2回『キャリア教育推進連携表彰』を実施します～産学協働による次世代育成に向けて～」の一部を使わせていただきました。

該当URL

<http://www.meti.go.jp/press/2012/10/20121010003/20121010003-1.pdf>

【問い2 B】

[8] 失敗 [9] 疑問 [10] 協力

- この項目については、経済産業省ホームページ内にある「社会人基礎力」の記載を使わせていただきました。

該当URL

<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/about.htm>

【問い3】

<input type="checkbox"/> あ	17	<input type="checkbox"/> い	35	<input type="checkbox"/> う	11	<input type="checkbox"/> え	28
<input type="checkbox"/> お	67	<input type="checkbox"/> か	62	<input type="checkbox"/> き	48	<input type="checkbox"/> く	48

- あ～えについては、厚生労働省ホームページ内にある「若者雇用関連データ」の「新規学卒者の離職状況」より出題しました。お～くについては、同項目のリンク「新規学卒者の離職状況に関する資料一覧」より出題しました。

該当URL

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/12.html>

<参考> 以下は文部科学省ホームページより

新学習指導要領、全面実施 平成25年度入学生から（数学及び理科は今年度入学生から）

生きる力を育むために、子どもたちの未来のために。

新しい学習指導要領は、子どもたちの現状をふまえ、「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成を重視しています。

これからの教育は、「ゆとり」でも、「詰め込み」でもありません。

次代を担う子どもたちが、これからの社会において必要となる「生きる力」を身に付けてほしい。そのような思いで、新しい学習指導要領を定めました。

「生きる力」を育むためには、学校だけではなく、ご家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組むことが大切です。

子どもたちの未来のために。

新学習指導要領、スタート。

○高等学校学習指導要領の改訂のポイント

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/30/1234773_002.pdf

茅ヶ崎西浜高校では、従来にも増して、進路指導、キャリア教育を着実に力強く推進してまいります。

○進路指導は人間育成を含めた指導であり、生活指導とも大いに関連があります。

○前述の中央教育審議会答申でも述べられているように、「キャリア教育は生き方指導そのものである」との認識で指導を進めます。